

台木「ひだ国府紅しだれ」は深根性で根域はやや狭い

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－モモ－栽培

2 担当者名

安達義輝、三田村諭、遠藤敦史、南春菜、渡邊善仁、増子俊明

3 要旨

本県の多様な栽培条件に適応可能な台木を選定するため、主幹障害が少なく有望とされる台木「ひだ国府紅しだれ」の根群分布の特徴を明らかにし、栽培管理技術確立のための一助とする。「ひだ国府紅しだれ」は「おはつもも」に比べ根域がやや狭く、深根性で中～小細根が発達した台木である。

- (1) 「ひだ国府紅しだれ」または「おはつもも」を台木とした12年生「ゆうぞら」の累積収量と根群形成を比較した。
- (2) 12年生時の単年収量および累積収量は、ともに有意な差が認められない(図1)。
- (3) 根群分布は、「おはつもも」が水平方向に大きく、「ひだ国府紅しだれ」は水平方向がやや小さく、垂直方向に大きい傾向である(表1)。
- (4) 根の分類では、「ひだ国府紅しだれ」は根幹を含む1cm以上の大根(支持根)の割合が「おはつもも」に比べ少なく、1cm未満の中～小細根(吸収根)の割合が多い傾向である(図2)。

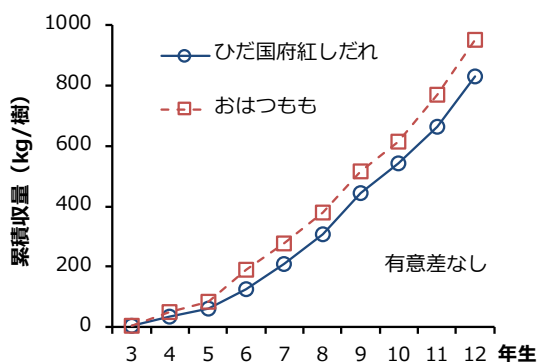


図1 累積収量の推移

表1 根群分布の特徴 (12年生「ゆうぞら」)

台木	樹冠半径 (m)	主根域 ^Y		最深部 (cm)
		水平方向 (m)	垂直方向 (cm)	
ひだ国府紅しだれ	4.5	1.5	20~100	150
おはつもも	5.0	3.0	20~30	70

^Z: 土壌条件は、深さ50cmまで砂壤土、以下は礫を含む埴壤土

^Y: 太さ1cm以上の主要な根の分布層

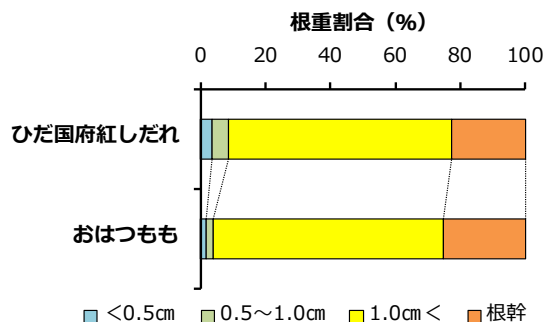


図2 根重割合 (12年生「ゆうぞら」)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 生育障害対策技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 神尾ら, モモ品種「ひだ国府紅しだれ」の台木特性に関する研究, 岐阜県中山間農業研究所研究報告第12号, p9-18, 2016.